

国内研修旅行

美しい自然に囲まれた教会群のある風景・五島列島の旅

長崎の西100キロメートルに浮かぶ島々からなる五島列島は、奈良・平安時代の遣唐使船の寄港地であり、中世以降は海外貿易の拠点として栄えました。キリスト教が日本に伝えられたのは1549年、長崎は日本のキリスト教の中心地となります。しかし、明治のはじめまで弾圧が続き、1873年によく禁教が解かれ、五島にいた潜伏キリシタンは一斉に立ち上がりたくさんの教会を建立します。厳しい信仰の歴史を物語る「祈りの島」では、いま、後世にこのようなことが二度と起きない「平和な世界」を残す活動をされています。美しい海と豊かな自然に囲まれた五島列島へご一緒しませんか！

■日時 平成26年6月29日～7月1日（2泊3日） ■費用 125,000円 ■募集人員 20名

■お申し込み 5月31日まで 海外研修KYOのあけぼの会 京都市中京区河原町三条上る大和学園内

日次	月日(曜)	予定
1	6月29日 (日)	伊丹空港までは、送迎貸切バス(京都駅八条口 05:30 出発)で ANA1671 伊丹空港 → 福岡空港 → 五島福江空港 → 福江島島内観光/ 07:05 08:25 / 08:55 09:35 鬼岳・鎧瀬溶岩海岸・大瀬崎断崖・遣唐使ふるさと館・水ノ浦教会・堂崎教会 → 福江島(泊) ※夕食:五島牛、はこぶぐをはじめ、五島列島の名物料理をご堪能下さい。 カンパーナホテル TEL: 0959-72-8111
2	6月30日 (月)	*海上タクシー ホテル → 福江港 → 田ノ浦港/久賀島 → 島内昼食 → 田ノ浦港 ← HISAKA FARM 訪問など ～～福江港(乗換)～～若松港 → 中通島島内観光/頭ヶ島天主堂・童馬ゆかりの地など 上五島(泊) 五島列島リゾートホテル マルゲリータ TEL: 0959-55-3100
3	7月1日 (火)	ホテル → 大曾教会・青砂ヶ浦天主堂・希望の聖母像など → 奈良尾港～～ 8:30 08:40頃 12:00頃 ～～福江島(昼食等) → 五島福江空港 → 福岡空港 → 伊丹空港 13:00頃 15:00頃 15:30 16:15 17:50 18:55 京都駅まで、送迎貸切バスでお見送り。

JTB西日本京都支店 京都市下京区河原町通松原上ル 京都四条河原町ビル7階
TEL 075-365-7723 FAX 075-365-7713

編集後記

2013年は研修旅行でデンマークの風力発電で名高いロラン島を訪れ、エネルギー問題を考える機会を持つことができました。資源に乏しい日本にとって重要な課題です。あけぼのフェスティバルでは多くの参加者を得てその研修結果報告をしました。我々の研修体験を会場に来られた皆様と共にできることを嬉しく思います。淡路大震災から19年、東北大震災から3年。まだ解決しない諸問題に苦しんでいる東北の皆様のためにも、惨事を忘れることなく環境とエネルギーの問題を考え続けることが大切です。厳しい冬を乗り越えようやく春を迎えて美しく咲く桜の花が私たちに勇気を与えてくれます。K.T.

2014.3 発行／海外研修KYOのあけぼの会 〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る大和学園内
TEL 075-241-0891 FAX 075-241-0831



海外研修KYOのあけぼの会

表題「てるびっと」は前京都府知事荒巻禎一様の直筆で、インドネシア語(京都府友好国)で「あけぼの」意味です。京都府の花「しだれざくら」「嵯峨菊」木「北山杉」鳥「オオミズナギドリ」を戸塚フランス刺繡で表したものです。

ごあいさつ



海外研修 KYO のあけぼの会
会長 田中 田鶴子

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申しあげます。日頃より海外研修 KYO あけぼの会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申しあげます。

25 年度にはデンマーク・ロラン島への海外自主研修を実施いたしました。風車による 100% 自然エネルギーの島・ロラン島は、私たちの電力の未来を見つめなおすための一つのヒントになるものと存じます。また、男女共同参画社会をいち早くつくりあげた国でもあり、女性が生き生きと笑顔で、自信に満ちあふれ活躍されている姿は、これから私たちが目指していくべき社会のあり方であると、感じました。

さて、2013 年 12 月のニュースですが、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、皆様の記憶に新しいかと思います。古くから我が国では、四季折々の多様で身体に優しい食材を使って「一汁三菜」の献立を考えてきました。おふくろの味を含めて、栄養バランスに富んだ健康的な食事は日本の誇るべき食文化だと存じます。積極的に、次世代に向けて守り伝えていくために、子供世代だけでなく食育を担う大人世代にも、認識を深め学ぶ機会を持てればと考えています。

近年の女性の社会進出は目を見張るものがございますが、まだまだ課題が山積みであることも現実です。職場で自分の能力を発揮したいと考える女性もいれば、家事や育児に専念したいと考える女性もいます。いろいろなライフスタイルがあるということです。職場で活躍している女性も家事や育児に専念している女性もすべての女性がそれぞれのスタイルを認め合いつつ、生き方に自信と誇りを持って、輝くことのできる男女共同参画社会を目指したいと存じます。

微力ではございますが、私共の活動が、豊かな社会づくりに役立つことを願っております。
一人でも多くの方にご参加いただきたく、皆様のお力添えを賜ります様お願い申しあげます。

2013年度総会

日時：平成25年4月18日 10:30～14:00

場所：京都国際センター/楼外楼（京都市下京区 京都駅ビル内）

- 総会 1 開会
2 会長挨拶
3 来賓紹介
4 来賓祝辞
5 議長選出
6 議事 ①2012年度事業・決算報告
②2012年度監査報告
③2013年度事業・予算(案)審議
④会費の改定について



田中会長挨拶

昼食

会員の声

「パートナーシティ トルコ共和国イスタンブル」

京都市 福島 宣子

昨年 9 月、トルコ共和国を訪れました。それはその 6 月に京都市とパートナーシティ提携されたイスタンブル市へ、市民レベル交流第一弾として市長様の親書を携えての訪問でした。

東洋と西洋を結ぶトルコ共和国、紀元前 900 年～600 年の歴史を持ちながら自給自足の時代から今は新しい都市がつくられイスタンブルはとっても元気で活気溢れる街でした。個人的には 40 年前にも訪れており、とっても懐かしく感慨深いものがありました。

今後両市は古い歴史を守り、伝統文化、教育などを通じ、お互いが正しく現状を見つめ未来につなぐ努力で交流・促進を目的としなければならないと思いました。

街中を歩いていて気さくに声をかけてください、多分「どこから来たの？」と聞かれたと思って日本の京都からというと満面の笑顔で握手をしてくださったおばさん。印象に残りました。人懐っこいというか日本人と知ってのことか、これも友好？と思ってしまいました。

京都の社寺、寺院の多さにも驚きですが、トルコの教会（モスク）の多さ、私たちには全部同じように見えるのです。夕日に映えるモスクの美しさは忘れる事はないでしょう。

長い歴史の中で産まってきた文化遺産が地震や水害など、また人為的に壊されてきました。その大切な文化遺産を後世に引き継ぎ、保存し、美しく伝えていくことは至難の技です。ごく小さないたずらも慎み、守っていく努力をし、伝えなければならないのではないか？

すばらしい、美しい宝のあるトルコ イスタンブル市、カッパドキアを訪れることが出来感動の旅でした。



海外研修 KYO のあけぼの会 入会のご案内

- 1 人とのつながりを大切にして 2 實際に行動する 3 まわりの多くの人に伝える
★主な活動内容 ・資質向上のための研修会 ・国内外研修旅行 ・KYO のあけぼのフェスティバルに参画 ・機関紙「てるびと」の発行
★年会費 3,000 円



第25回 KYOのあけぼのフェスティバル2013

ワークショッププログラム

海外研修KYOのあけぼの会・京都商工会議所女性会

日時 平成25年10月26日(土)

場所 京都テルサ 参加者 76名

1 開会挨拶 海外研修KYOのあけぼの会
会長 田中 田鶴子



ワークショップ会場

2 DVD発表
「100%自然エネルギーのデンマークに学ぶ」

発表者 山科 昌子
大野三恵子
木下 恵子
映像編集 神田 尚子



山科さん

3 講演「男女がともに健康になる社会をめざして
～生活習慣・健康状況の男女比較から～」

講師 同志社大学保健センター医師
中澤 敦子氏



中澤先生

4 閉会挨拶
京都商工会議所女性会
会長 中西 たえ子



満席の会場

ごあいさつ

海外研修KYOのあけぼの会の皆様方には、日頃から京都府の男女共同参画行政の推進はもとより、府政全般にわたり、格別のご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、「100%自然エネルギーの先進国デンマークに学ぶ」としてデンマーク・ロラン島で研修を実施され、その成果をあけぼのフェスティバルで発表いただきました。これまでから、着実にそして継続的に、環境、文化などに目を向いた取組を実施されていることに敬意を表します。

また、平成26年度は、細川ガラシャをテーマに研修されると聞いております。父・明智光秀、文化人としても名高い夫・忠興、その父で古今伝授を受けた幽斎とともに、府内に

ゆかりの地も多く、観光振興、自然や歴史文化の発信としても重要な取組と考えております。京都府でも、ゆかりの市町とともに明智光秀・細川ガラシャを主人公にしたNHK大河ドラマの誘致活動に取り組んでおります。

さて、昨年6月に閣議決定された国の「成長戦略」に示されているように、経済社会の再生や成長の鍵として、女性の活躍に対する期待が非常に高まっております。閉塞感を打ち破り、女性が輝く日本をつくるためには、まさに、地域のリーダーとして活躍されている皆様方の知恵と力こそが、地域を元気にし、社会を変えていく何よりの力になるものと確信しております。

京都府においては、これまで、海外研修KYOのあけぼの会をはじめ、多くの団体の皆様の力をいただき、男女共同参画施策を進めてまいりました。国のこれらの動きを踏まえて、次のステージへ歩みを進めるためには、皆様のお力がますます必要です。

引き続き、京都府の男女共同参画社会づくりに、一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

・研修会の様子

出席会員24名、委任状35名の出席を得、開催。田中会長の挨拶に続き、来賓の京都府府民生活部大谷学男女共同参画監から、しなやかにこなし、元気に発信している当会とともに勉強させてもらいたいとご挨拶を頂戴した。議事は決算・予算の審議および「会費改定」の提案も承認していただき、総会を終了した。

講演 「古典からのメッセージ
～いま日本人に必要なもの～」
講師 京都産業大学日本文化研究所教授 小林一彦氏

「方丈記」は災害の中から生きるメッセージがかかれて、「古今和歌集」は自然との共生がうたわれ、また、日本とヨーロッパの男女平等意識の比較をされ、日本女性は経済的に自立し、離婚を求める権利も認められていたというお話を聴きました。



小林一彦先生

100%自然 エネルギーの デンマークに 学ぶ



平成25年5月27日～6月2日 参加者17名
海外研修KYOのあけぼの会・京都商工会議所女性会

東日本大震災から2年、脱原発が叫ばれ、我々はエネルギーを何に頼り、どう消費して行くか、持続可能な社会にむけ、女性が出来ることは何かをテーマに研修することになった。

デンマークではかつて原発建設予定地であったロラン島が、今では500基の風車による風力発電で自然からエネルギーを生みだしていることを知り、自然との共生を勉強しようとロラン島を目指した。

震災後、度々日本を訪問しているレオ・クリステンセン氏のお膝元でレクチャーをうけ、ロラン島が風力発電を成功させたことや、今、新たに水素や藻をつかった「再生エネルギー」についても研究を進めていることなど興味深いお話を聴いた。福祉も充実し、世界一幸福な国という人々の生活にも興味はわき、同じ島で農場を経営している女性オーナーを訪ねた。彼女は祖父から受け継いだ古い形の農場を100%有機農場に転換、女性従業員の数も増やし、わずか7年たらずで世界にも通じるチーズを生産しているというパワーに刺激をうけた。

オーフス市「デンマーク女性博物館」見学。男女同権の社会の基礎を作った女性がいた歴史を学び、今、8割の女性が社会進出している裏には男性も家事・育児を分担する支援制度が充実していることにあり、共に歩むことが当たり前なことを改めて学んだ。



ロラン島・菜の花畠



レオ・クリステンセン氏



ニールセン北村さんの通訳で熱心に聴講



クヌセンレン農場女性オーナーを囲んで



アンデルセンの生まれた町の街並み



デンマーク女性博物館



オーフス・マーセリスボーエ城



クヌセンレン農場女性オーナー



レストランのチーズのいろいろ



屋外で飼育されている豚



昔は農家だったといいうエスコウ城



世界遺産ロスキレ大聖堂



コペンハーゲン・ニューハウン地区